

I. 幕屋は、人にとって集会の天幕でしたが、神にとっては幕屋でした。幕屋は、神の証しと関係がありますが、集会の天幕は、より外側の、外面的なものであって、神の地上の権益と神の行動と関係があります。			
II. 幕屋の中へと入れられた調度品の最初のものが、証しの箱であったことが示しているのは、その証しの箱が幕屋とその調度品の中心的なものであったということです：	A. 大部分のクリスチャンは、祭壇における救いの経験に焦点を合わせていますが、出エジプト記が啓示しているのは、神の意図が、証しの幕屋において証しの箱を持つことであるということです。		
	B. 最終的に、幕屋の中の箱は、永遠の幕屋において、すなわち、新エルサレムにおいて究極的に完成します。新エルサレムは、箱を、すなわち、贖うキリストを中心とします。		
	C. 神の永遠の目標は、幕屋と箱の究極的な成就としての新エルサレムを持つことです。		
III. 幕屋、雲、栄光は、三一の神の満ち満ちた予告です：	A. 幕屋は、建て上げられ、雲によって覆われ、栄光で満たされたとき、三一の神の満ち満ちた予告となりました：	1. 幕屋の予告は、キリストにおいて、すなわち、三一の第二である、肉体と成った子なる神において成就されました。	
		2. 下って来て、幕屋を覆った雲は、三一の第三である聖霊の予告です。	
		3. パプテスマのヨハネは、その霊がキリストの上へと下って来たことを見ました。キリストは、幕屋の予告の成就と見られました。	
		4. ヨハネ第1章14節は言います、「私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった」。この栄光は、幕屋を満たした栄光に符合します。	
		5. 出エジプト記第40章において、幕屋が、下って来た雲によって覆われ、またエホバの栄光で満たされたことの絵は、ヨハネ第1章において成就されました：	a. 私たちがヨハネ第1章を読むときに見る必要があるのは、キリストが幕屋の成就として今日私たちと共におられることと、覆う霊がこの幕屋の上におられることと、栄光がこの幕屋を満たしていることです。
		6. 幕屋はキリストの予告であり、雲はその霊を表しており、栄光は表現された神ご自身であるのですから、幕屋が雲で覆われ、栄光で満たされたことの絵は、しるしにおいて、三一の神全体を具体化しています。	b. 三一の神のこの啓示は、単なる教理ではありません。私たちは、生ける三一のビジョンを見ているのです。
B. 幕屋が建て上げられ、雲が下って来て幕屋を覆い、栄光が幕屋に入って来てそれを満たした日は、大いなる日でした：	1. それ以前、三一の神は決して地上で具体化されたことはありませんでした。創世記から出エジプト記にわたって、三一の神の具体化は神の目標でした。		
	2. 雲によって覆われ、栄光で満たされた幕屋は、イスラエルの子たちにとって大いなる祝福でしたが、彼らはしるしを持っていただけでした。私たちは今日、その実際を持っています。		
C. 出エジプト記第40章9節において、幕屋を油塗るために用いられた塗り油は、霊なる神を予告しています。霊なる神は、三一の神、キリストの人性、キリストの死とその効力、キリストの復活とその力と複合されています：	1. 塗り油は、キリストが復活した後のその霊に符合します。		
	2. その霊は塗り油として、まず私たちを油塗り、それから、雲と火の柱として私たちを導きます。		

<p>Ⅲ. 幕屋、雲、栄光は、三一の神の満ち満ちた予告です：</p>	<p>D. 三一の神は、幕屋としてのキリストの中で具体化されました。その目的は、ご自身を彼の贖われた民の中へと分与して、彼らが、彼の存在のすべての豊満を享受することです：</p>	<p>1. 新約において、神に関して述べられているあらゆるものは、神聖なエコノミーのための神聖な分与と関係があります：</p>	<p>a. 聖なる御言における三一の神に関する啓示は、教理的な理解のためではなく、神が神聖な三一において、彼の選ばれ贖われた人の中へと分与されて、彼らの経験、また享受となるためです。</p> <p>b. 三一の神(父、子、霊)は、手順を経て、命を与える霊と成りました。それは、私たちが彼から飲み、彼が私たちの享受となることができるためです。これは、神聖な三一の神聖な分与です。</p> <p>c. 神聖な三一は、神聖な分与のため、すなわち、キリストにある信者たちの中へと神を分け与えるためです。父は起源として源泉であり、子は表現として泉であり、霊は伝達として流れです。</p> <p>2. 予告において、イスラエルの子たちは、神聖な分与とミングリングにおいて、三一の神を享受し、また所有しました。三一の神も、彼らを享受し、また所有しました。</p> <p>3. 新約が啓示しているのは、三一の神と彼の贖われた人たちの、神聖な分与とミングリングとの満ち満ちた実際です。</p> <p>4. エペソ人への手紙は、その基本的な要素と構造としての神聖な三一をもって構成されており、あらゆる章は三一の神を啓示しています。こういうわけで、エペソ人への手紙は、出エジプト記第 40 章の幕屋をはっきりと説明し、解釈しています。</p> <p>5. 神聖な三一の神聖な分与は、召会(キリストのからだ、また神の住まい)を建造する唯一の道です。</p> <p>6. 私たちが必要とするのは、聖書の中心的事柄のビジョンです。それは、神聖な意図、神聖なエコノミー、神聖な三一の神聖な分与であって、神聖な三一をキリストにある信者たちの中へと分与して、キリストのからだとしての召会を建造し、そのキリストのからだ新エルサレムにおいて究極的に完成して、三一の神の永遠の団体的な表現となるということです。</p>
<p>Ⅳ. 旧約時代において、神の家は、イスラエルの家でした。それは、幕屋によって表されており、後ほど宮によって表されるようになりました：</p>	<p>A. イスラエルの子たちは神の民として、新約の信者たちの予告です：</p> <p>B. 創世記の終わりにおいて、個人のイスラエルが神の家の縮図として、生み出されて、神を表現し、代行して、彼の権威を行使しました。</p> <p>C. 出エジプト記の終わりにおいて、団体のイスラエルが神の家として、生み出されて、神を表現し、代行して、地上で彼の権威を行使しました。</p> <p>D. 神の永遠の定められた御旨の目標は、団体の人々を得て、神の住まいとならせ、永遠において彼の表現、代行とならせることです：</p>	<p>1. 彼らの歴史全体は、召会の予告です。</p> <p>2. 今日、神の家は実際において、召会です。</p> <p>1. 創世記と出エジプト記は、神の幕屋、神の住まいが神の栄光で満たされたことをもって結んでいます。</p> <p>2. 同様に、全聖書は、神の永遠の幕屋としての新エルサレムが、神の栄光で満たされており、永遠において彼の神聖な行政のために彼の権威を行使することをもって結んでいます。</p>	

- ① 出 40:2 「第一の月の一日に、あなたは集会の天幕である幕屋を建て上げなければならぬ。³ また、あなたは証しの箱をそこに置き、垂れ幕でその箱を隔てなければならぬ。

出エジプト記は、神の意図が箱を持つことであることを啓示します。この箱は証しの箱であり、これが幕屋を証しの幕屋とならせます。神が願われるのは、証しの幕屋の中の証しの箱です。しかしながら、私たちは、自分自身の救い以上のものを何も願わないかもしれません。私たちは自分の救いを顧みるので、神の証しに関して何の考えも持たないかもしれません。私たちの救いは祭壇にあります。神の証しは箱にあります。今日のクリスチャンの多くは、神の証しについて何の発想も持ちません。彼らはおもに自分の救いに関心があります。もしあなたが神の御言の中の他の事柄について彼らと話をしようとするなら、彼らは言うかもしれません、「これは私の救いと何か関係があるのですか？これは私が天国に行くかどうかを決めるのですか？」。…啓示録はイエスの証しに関する書です。この証しは神の箱です。啓示録によれば、神の箱は最終的に幕屋において究極的に完成し、それは新エルサレムとなります。新エルサレムは幕屋の究極の成就です。新エルサレムを持つことが神の永遠の目標です。

神のエコミーのビジョンによれば、あなたが救われたのはあなたの生活が良くなるためではなく、神の証しのためです。もちろん、あなたが神の証しを持てば、あなたの生活は引き上げられ、祝福されます。しかし、救いの目標は、神の証しを持つことです。幕屋は証しの箱のためであり、証しの箱が幕屋の中心でした。あなたは自分のクリスチャン生活や召会生活をこのようなビジョンをもって過ごさなければなりません。例えば、あなたは自分の職業の業務が祝福され、給料が上がることを祈るのではなく、職業において神の証しとなることを祈ってください。神の証しとなるためには、あなたは毎朝兄弟姉妹と共に、御言葉を祈り読みし、復興される必要があります。また、職場に着く前に、主を享受し主の霊で満たされて、主の証しのために業務を遂行できるように祈るべきです。そうすれば、あなたは主の霊で満たされて、神の証しとなることができます。同時に、あなたは業務においても徐々に前進して、エクセレント・パフォーマーになることができますでしょう。

- ② 出 40:34 その時(幕屋が建造された時)、雲は集会の天幕を覆い、エホバの栄光が幕屋を満たした。

幕屋が建て上げられ、雲が下って来て、栄光が入って来たとき、イスラエルの子たちがどのように応答したかの記録は聖書にはありません。しかし私は、多くの人が我を忘れて喜んだと信じます。今日、私たちには、はるかに深遠なものがあります。もし私たちが我を忘れていないなら、このことは私たちが啓示を見たことがな

いことを示します。…長年人々は、サンフランシスコとロサンゼルスの間を道路を通過して旅行するとき、パシフィック・コースト・ハイウェイを通過して、海岸沿いの光景を見るべきであると私に告げてきました。数年前私がついにこのルートを通った時、その光景の美しさを信じるのができませんでした。私が聞いていた説明は、実際の光景とは比べものになりませんでした。私はいくつかの地点で止まりさえし、車から降りてその光景をさらによく鑑賞しました。同様に、私たちは他の人たちが幕屋について見たことを描写するのを聞くだけではなく、自分自身のために、聖霊によって覆われ、神の栄光で満たされている幕屋としてのキリストを見る必要があります。

ひとたび今日の幕屋である召会が神の栄光で満たされているビジョンを見るなら、あなたは自分の全生涯をキリストと召会に捧げ、決して召会生活を離れることはできないでしょう。

- ③ Ⅱコリント 13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

コリント人への第二の手紙第 13 章 14 節は、神格の三一が、組織神学の教理的な理解のためではなく、神が神聖な三一において、彼の選ばれ贖われた人々の中へと分与されて、彼らの経験また享受となるためであることを強く証明します。聖書の中で三一は、決して単なる教理として啓示されていません。それは常に、神と彼の被造物との関係、特に神が創造された人、とりわけ彼が選び贖われた人々との関係について啓示されているか、あるいは述べられています。…私の幸いの秘訣は、私が驚くべき、計り知れない、無尽蔵の豊かなキリストを受けてきて、今もなお受けているということです。私は神が人類に分与したものを受けました。毎日、私は、彼をさらに多く受けます。

あなたは日本人の宗教的な観念を持って、聖書を読んではいけません。日本人の宗教的な観念によれば、神は礼拝の対象であっても、決して経験し享受できる方ではありません。この宗教観念によれば聖書の多くの御言葉は、単なる良い物語や過去の歴史にすぎないので、あなたの日常生活とは無関係であり、経験することはできず、また、その必要もありません。サタンはこのような文化的な理解を用いて、神の民であるあなたが主を経験し享受するという神のエコミーを見えないようにしています。どうか主があなたの目を開いてくださり、知恵と啓示の霊によって神のエコミーのビジョンをはっきり見て、ビジョンにしたがって神の分与を経験し享受できますように。実際的なビジネス・ライフ、ファミリー・ライフ、スクール・ライフの状況で、主観的にキリストを安息、活力、力、知恵またすべてとして経験できますように。アーメン！

詩歌（補充本）、602番

- 1 主のみや建造され、地方しょうかいが
いま完全に回ふくするときである。
かみのいえはいま荒廃している。
かみの建造のため、いざ立て！

(復) つよくあれ、住まい建造せよ！
万軍の主どう在す、みや栄こうに満つ！
つよくあれ、調和しはたらけ、
すべてのひとみやを、見つめるため。

- 2 主のことばを聞け、みちをかんがえよ。
賛美に欠けるゆえ、収かくはわずか。
やま行き、木を切り、材料そなえよ。
主のいえ建造する、栄光主に！
- 3 さい司、レムナントはいま主にしたがう。
ひと、なに言うとも、主ともにいます。
霊をふるい立たせ、燃え、はたらけ。
主のみやの建造にあずかろう。
- 4 主は言う、「このいえ栄こうで満たす」。
諸こく民のねがいはてらんされる。
まえのえいこうにまさるえい光、
われらはえい遠にあずかる。

1254. The Church – The Lord's Recovery; Haggai 1

1. This is the time for building the temple of the Lord
That all the local churches may fully be restored.
'Tis not the time for our house while God's house lieth waste brothers,
for God's building, rise up, make haste!
(C)
Be strong, be strong, God's dwelling place to build!
The Lord of hosts is with us, with His glory 'twill be filled!
Be strong, be strong, and work in one accord,
That all the nations may behold the temple of the Lord.
2. O hear, the Lord is speaking: Consider now your ways,
Ye sow and bring in little, for lacking is My praise.
Go up into the mountain, material to provide,
And build My house that I may be glorified.
3. Ye who are priests, ye remnant of Christians now obey —
The Lord Himself is with us, whatever men may say,
With spirits stirred and burning, now let us come to work;
May none his part with others in building shirk.
4. I'll fill this house with glory, the Lord of hosts has said,
And the desire of nations will be exhibited.
Its glory will be greater than all that's gone before,
And we will share this glory forevermore.

補充本, #606 建造神的圣殿

- 一
建造神的圣殿的时候已经来到，
所有的地方召会要完全被建造。
不该专顾你的家，而神家却荒废；
弟兄们，快快兴起，建造召会！
(副)
刚强！刚强！全体起来建造！
神必定与我们同在，使殿满了荣耀。
刚强！刚强！同心合意工作；
地上万国都要看见神荣耀的居所！
- 二
听阿，神说：你们要省察自己行为，
撒种虽多，收却少，因对我缺赞美；
你们要上到山上去为我取木料，
同心建造我居所，我得荣耀。
- 三
你们蒙召的祭司当向神全顺服，
神既与我们同在，管他世人怒目，
灵里激动并火热，我们同来作工，
但愿在其中没有一人放松。
- 四
万军之耶和华说：我殿要满荣耀，
地上万国羡慕的必定快要来到，
这殿后来的荣耀必大过先前的，
我们同享这荣耀，喜乐无比。